



県内製造業の 受注機会創出を目的に商談会を開催

10月5日、ANAクラウンプラザホテル秋田を会場に「令和4年度 あきたモノづくり商談会」を開催した。今年は、発注企業42社、受注企業58社、あわせて152名のものづくり企業が参加し、活発な商談と情報収集が繰り返し広げられた。なお商談会後には、特設WEBサイトにてオンライン商談会も実施した。

本商談会は、対象業種の非鉄金属、鉄鋼、板金、製缶、機械加工、電気機器、樹脂、ゴム、機械設計などの秋田県内製造業の取引振興を図るため、毎年開催している。コロナ禍で定員制限を設けながらも開催形式をアレンジして3年ぶりの開催となった。発注企業の参加申込数は想定を超え、コロナの反動や原油高騰、為替影響により発注側の国内発注ニーズが高まっていることがうかがえる。なお発注側の参加企業は、東北を中心に、首都圏や信越、関西、中部地方からも参加した。



面談は、受発注企業双方よりあらかじめ面談を希望する企業を指名する指名面談方式とし、1コマ20分間8コマのタイムスケジュールで行われ、総面談数は286件となった。面談では、部品図面や製造サンプルをテーブルに広げ、自社の加工技術の説明や将来に向けた情報収集が行われた。



後日行われた期間を限定したオンライン商談会には9社の県内企業が参加し、会場での面談ができなかった企業同士が、動画や画像などの資料を活用しながら新たな受注機会を得ようとオンラインでの商談を行った。



引き続き当センターでは、首都圏および東北地域担当の販路開拓アドバイザーと連携し、県内企業が得た案件の情報収集に努め、具体的な発注案件を有する県外企業との個別マッチング商談会も実施しながら、ものづくり企業の取引支援を継続していく。